

必ずお読み下さい。

M32C/80 シリーズ用コンパクトエミュレータ専用
エミュレータデバッグ
PD308S V.1.10 Release 1
リリースノート
株式会社サニー技研
2003 年 12 月 24 日

概要

本資料は PD308S のユーザーズマニュアルの補足等について説明します。ユーザーズマニュアルの当該項目をご覧になる場合は、併せてこのリリースノートをご覧いただきますようお願い申し上げます。

目次

1. 製品の構成.....	2
2. 動作環境.....	3
3. インストール手順.....	4
3.1. PD308S のインストール.....	4
3.2. Acrobat Reader のインストール.....	4
3.3. HTML Help Update コンポーネントのインストール.....	4
4. 技術サポート.....	5
4.1. FAX または電子メールによる技術サポート	5
4.2. ホームページによる技術サポート.....	5
5. 注意事項.....	6
5.1. 割り込みスタックポインタ(ISP)の初期値について	6
5.2. エミュレータのリセットスイッチの押下について.....	6
5.3. ターゲット MCU の HOLD 端子が Low になるシステムについて	6
5.4. ファイルとディレクトリの取り扱いについて	6
6. バージョンレポート	7
6.1. PD308S V.1.10 Release 1	7
6.2. PD308S V.1.00 Release 1	7

1.製品の構成

PD308S V.1.10 Release 1 は、以下のものから構成されています。

製品ディスク

1. PD308S インストールプログラム一式

PD308S インストールプログラムを実行しますと、以下のファイルがインストールされます。

「プログラム」

- PD308S.EXE V.1.10.00
- PDBDLL.DLL
- PDBDLL.LIB
- PD308S.RDF
- PD308S.FWI
- M30830A0.C1
- M30830C.MCU
- PDHELP.CHM
- DEFAULT.SCK

「電子ファイル」

ファイル名	内容
pd308suj.pdf	エミュレータデバッグユーザーズマニュアル
pd308snj.pdf	PD308S V.1.10 Release 1 リリースノート

2. Acrobat Reader

電子ファイル(PDF ファイル)を閲覧するためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、アドビシステムズ社の製品です。

3. HTML Help Update コンポーネント

HTML ヘルプを表示するための追加コンポーネントです。本コンポーネントはマイクロソフト社から提供されているものです。PD ヘルプが表示できない場合は、このセットアッププログラムを実行し、ヘルプ表示用ランタイムコンポーネントを更新して下さい(セットアップ終了後、Windows を再起動する必要があります)。

PD308S V.1.10 Release 1 リリースノート

- これらのものが製品に含まれていない場合は、サニー技研営業窓口(info@sunnygiken.co.jp)までご連絡下さい。

2.動作環境

PD308S は、以下のホストマシン、エミュレータ環境で動作します。

表1 ホストマシン環境

ホストマシン名	IBM PC / AT 及びその互換機
OS	日本語 Windows 95 日本語 Windows 98 日本語 Windows Me 日本語 Windows NT 4.0 日本語 Windows 2000
CPU	Pentium 166MHz 以上を推奨
メモリ	64M バイト以上を推奨

3.インストール手順

3.1.PD308S のインストール

Windows のエクスプローラ等から製品ディスクの¥PD308S¥W95J フォルダにある”setup.exe”を起動してください。
その後、表示されるメッセージにしたがってインストールしてください。

[注意事項]

ホストマシンの OS に Windows NT/2000 をご使用の場合は、**administrator** の権限を持つユーザが実行して下さい。
administrator の権限を持たないユーザでは、インストールを完了することができませんので、ご注意下さい。

3.2.Acrobat Reader のインストール

PD308S のマニュアルは、電子マニュアルとして提供しています。電子マニュアルを参照するためには、Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader は、製品ディスクの Acrobat フォルダ以下に添付していますので必要に応じてインストールしてください。最新版の Acrobat Reader、はアドビシステムズ社のホームページからダウンロードして下さい。

アドビシステムズ社のホームページアドレス: <http://www.adobe.co.jp/>

3.3.HTML Help Update コンポーネントのインストール

PD308S のヘルプは、HTML ヘルプとして提供しています。HTML ヘルプを表示するには、Internet Explorer 4.0 以降が組み込まれている必要があります。

HTML ヘルプが表示できない場合は、Internet Explorer 4.0 以降をインストールしていただくか、HTML Help Update コンポーネント(Hhupd.exe)をインストールしていただくか、またはその両方をインストールしていただく必要があります。

HTML Help Update コンポーネントのインストールプログラムは、製品ディスクの¥Utility¥Hhupd.exe に格納してありますので、必要に応じてインストールしてください(セットアップ終了後、Windows を再起動する必要があります)。また、以下のマイクロソフト社のホームページから最新版がダウンロードできます。

HTML ヘルプコンポーネントに関するサイト: <http://msdn.microsoft.com/workshop/author/htmlhelp/default.asp>

4.技術サポート

4.1.FAX または電子メールによる技術サポート

ご購入後 90 日間に限り、FAX またはメールにて技術お問い合わせを受け付けております。
S30830T-CPE 取扱説明書 (CPE83SUJ.PDF) の最後に添付されている「技術サポート連絡書」を FAX いただくか、
同じ項目を記入いただいたメールを下記のメールアドレスまでお送りください。

FAX: 072-778-1709

E-mail: support@sunnygiken.co.jp

「技術サポートに関するお願い」

弊社のソフトウェアツールでは、動作環境としてホストマシンの種類を指定しています（例：IBM PC / AT とその互換機等）。これは弊社が想定する（サポートの対象とする）動作環境を示すためのもので、該当する全ての機種や、該当する機種のあらゆる環境（デバイスドライバ、周辺装置等）においての動作を"保証"するものではありません。弊社が指定した動作環境でソフトウェアツールをお使いの場合に万一、問題が発生した場合は、その問題を解決するための技術サポート（不具合修正や問題回避策のご連絡等）をさせていただきます。

なお、お客様の環境下で発生した問題が弊社の動作環境下で再現できない場合、その問題を解決するためにお客様にご協力頂く場合があります（お客様同意の上、機材等をお借りする場合があります）。予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

4.2.ホームページによる技術サポート

下記 URL のホームページにて、ツールのデータシート、FAQ など、ツールに関するさまざまな情報を提供しております。

ホームページアドレス: <http://www.sunnygiken.co.jp/>

5.注意事項

5.1.割り込みスタックポインタ(ISP)の初期値について

M32C/80 シリーズ用エミュレータはリセット解除後、割り込みスタックポインタ(ISP)を 0500h に設定して、リセット解除時のスタック領域としてを使用しますのでご注意ください。

5.2.エミュレータのリセットスイッチの押下について

エミュレータ本体のシステムリセットが正常に動作しない場合、PD308S を終了させた後エミュレータの電源を再投入し、PD308S を再起動してください。その後、プログラムを再ダウンロードしてください。

5.3.ターゲット MCU の HOLD 端子が Low になるシステムについて

ターゲット MCU の HOLD 端子が Low になっている状態ではターゲットプログラムの実行を停止することはできません。HOLD 端子を High にして、再度ターゲットプログラムを停止してください。

HOLD 端子が Low になっている期間が短い場合でも、ターゲットプログラムを停止する際に HOLD 端子が Low になっている場合があります。そのときは、再度ターゲットプログラムの停止を試みてください。

5.4.ファイルとディレクトリの取り扱いについて

PD308S は Windows 95/98/Me、Windows NT/2000 上で動作しますが以下の点に注意してご使用頂くようお願いいたします。

1. ファイル名、及びディレクトリ名について
 - 空白文字を含むファイル名、ディレクトリ名は使用できません。
 - 漢字のファイル名、ディレクトリ名は使用できません。
 - . (ピリオド) が 2 つ以上ついたファイルは使用できません。
2. ファイル指定、およびディレクトリ指定について
 - "... " (2 つ上のディレクトリ指定) は使用できません。
 - ネットワークパス名は使用できません。ネットワークパス名を使用する場合は、ドライブに割り当てて使用してください。

6.バージョンレポート

6.1.PD308S V.1.10 Release 1

本バージョンでは、前バージョン PD308S V.1.00 Release 1 から以下の仕様を変更しました。

6.1.1.制限事項の改修

- SCCnd 命令の dest として、A0 または A1 レジスタを指定している場合にプログラムウィンドウ等で逆アセンブル表示すると、該当命令の表示が「??」になる場合がある制限事項を改修しました。

6.1.2.機能拡張、仕様変更

- HEW の外部デバッガとして PD308S を起動した場合、プログラムウィンドウやソースウィンドウに表示中のソースファイルを HEW 内にオープンできるようにしました。

6.2.PD308S V.1.00 Release 1

本バージョンが初めてのリリースとなります。